



有珠山噴火と札幌

有珠山(732m)が3月31日、23年ぶりに噴火しました。博物館では、噴火のちょうど5カ月前に「北海道の火山」と題する野外見学会を実施し、“有珠山”と“北大有珠火山観測所”を見学させていただいたこともあり、その驚きもひとしおでした。

今回の噴火の注目すべき点は、2日前に噴火を予知し、危険な地域の住民を完全に避難させたことです。この偉業は、日本の防災史上初めてのことであり、過去の活動を調査・研究し、未来に活かした実践例として、まさに科学の社会的な貢献を実証しました。

もともと洞爺湖は今からおよそ13万年前に起こった大規模な火山活動によって山体が吹き飛ばされ、そのくぼみに水がたまったカルデラ湖であり、いわばその活動が現在で

も継続していると考えられます。

前回(1977~78年)の噴火では、火山灰が札幌にも積もり、札幌にも火山災害の可能性があるんだなどのん気なことを考えたものです。しかし、よく振り返ってみると札幌を取り囲む、手稲山、三角山、藻岩山、円山などは、いずれも今からおよそ200万年前の火山活動によって造られた山々です。また、かつて建材としてよく利用され、今も札幌の街並みを特徴づける「札幌軟石」はおよそ3万年前に支笏火山が大噴火をした際の火砕流の高温部が溶結したものです。札幌の南部(石山・清田・厚別・白石)には今も数mに積もった火砕流の地層を見ることができます。もし、当時札幌に人がいたとすれば大きな被害を出していたはずですが、有珠山の噴火も決して対岸の火事では済まされないことなのです。



爆発直後の有珠山
(2000.3.31)
虻田町青葉から
撮影高尾文桂氏



現在の有珠山(2000.4.30)

アシリベツの滝(札幌市清田区)
今からおよそ3万年前に噴火した支笏火山の火砕流が堅く固結し、川の浸食にもとり残されて滝になったものです。



「ミューズ・レター」は、博物館(Museum)の語源であり、喜びを意味する「muse」とみなさんと博物館をつなぐ通信を意味する「letter」から名づけた交流誌です。

自然系総合博物館をめざして - 新長総スタート！

新年度博物館事業スケジュール決まる！

本市の新たな長期総合計画と5年計画がスタートしました。博物館計画に関しては、長期総合計画で「自然系総合博物館を設置する」ことが盛り込まれ、5年計画では、その開館準備活動として、ソフト事業の先行実施や活動拠点となる収蔵施設の改修などが行われることになっています。収蔵施設（現リンケージプラザ5、6階）の改修では、一定の環境で資料を保存できる特別収蔵庫や市民が利用する実習室などを整備します。



平成12年度博物館事業カレンダー

4 月	5 月	6 月	7 月
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージズレター発行 ・博物館ボランティア講座 	18ビルの化石探検（市内中心部）	23キノコ観察（定山溪） 30昆虫採集（定山溪） ・ミュージズレター発行
8 月	9 月	10 月	11 月
3化石採取（沼田町） 23バーズ博士（サッポロ 郡立博物館）の来札記念 講演会	15クイズで楽しむ動物の不思議（円山動物園） ・博物館ボランティア講座 ・博物館年報発行	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館フォーラム ・博物館ボランティア講座 ・ミュージズレター発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビー展 札幌の自然
12 月	1 月	2 月	3 月
<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカづくり（初級・中級） ・ミュージズレター発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビー展 札幌の淡水魚 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座 	

注) 開催時期、内容等が変更になることがあります。詳細は「広報さっぽろ」などに掲載しますので、事前にご確認ください。





《札幌自然誌考》3

札幌最古の岩石

南区定山溪の薄別川に露出する泥岩と砂岩(薄別層)が札幌最古の岩石です。実は、はっきりとした時代はわかっていないのですが、道南にも似た岩石が露出していることから、これらと比較して白亜紀(今からおよそ1億4400万年前)よりも古い時代の岩石であろうと推定されています。この岩石には「コノドント」と呼ばれる謎の化石が含まれていると考えられています。「コノドント」は何かの動物の歯であろうと考えられていますが、はっきりとした答えはまだでていません。しかし、世界

中の古い岩石からさまざまな形をした「コノドント」が発見されていることから、形で種を特定し、時代を調べることができます。札幌最古の岩石から「コノドント」が発見されれば、札幌の最古の時代が明らかにされるはずです。



コノドント
(顕微鏡写真)

復元されたコノドントの形状
出典『コノドントの系図』
林 信愷 1981 地団研専報23



人物伝

牧野富太郎(1862~1957)

まきのとみたろう

牧野富太郎の名は、特に植物に興味のない人にも知られています。書店をのぞけば彼の苗字が記された植物図鑑や伝記が並べられ、今なお多くのファンに親しまれています。

牧野は、1862(文久2)年4月24日、高知県で生まれました。実家は代々の造り酒屋でしたが、通っていた小学校にあった「博物図(文部省博物局編)を見て、植物に興味を持ち、1884(明治17)年に上京します。東京帝国大学理科大学(現在の東京大学理学部)植物学教室の門をたたいた牧野は、ついに大学の文献や資料を利用することを許され、独学で植物分類学を学びます。中国の流れをくむ日本の本草学を植物分類学へと方向転換させた最大の功労者といわれ、彼が命名した植物の新種は、1889(明治22)年ヤマトグサに学名を付け

て以来1,600種を超えます。

私財を投じて植物採集と分類に明け暮れたため、実家はついに没落し、妻寿衛子は、料理屋を営むなどして彼の研究を支え続けました。北海道帝国大学教授であった宮部金吾の招きで1927(昭和2)年来札した彼は、帰りに立ち寄った仙台でササの新種を発見します。翌年妻が亡くなると、その死を悼みこのササに「スエコザサ」と名づけました。

1927(昭和2)年に学位(理学博士)を取得し、1950(昭和25)年日本学士院の会員、翌年には、第一回文化功労者にもなりました。しかし、東京大学を退官するまで講師の肩書にとどまったのは、彼が小学校しか出ていなかった(中途退学)ためだと言われています。



★★★★ 読んでね! ★★★★★

～太古の北海道 - 化石博物館の楽しみ～

木村方一著 北海道新聞社

アンモナイト、クビナガリュウ、デスモスチルス、ナウマンゾウ.....

北海道ではさまざまな生物が繁栄と滅亡を繰り返していました。こんな生物たちが化石となって、道内各地の博物館に展示されています。

この本ではこれらの生物と当時の環境を写真や資料を使ってやさしく解説しており、道内の化石博物館の案内書として最適な一冊です。

～古代に遊ぶ - さっぽろ文庫～

札幌市教育委員会編

札幌では500近くの遺跡(埋蔵文化財包蔵地)があり、現在でも年4～5カ所の遺跡調査が行われています。古いものでは、旧石器時代の石器も見つかっています。札幌や石狩低地帯の遺跡が詳しく書かれているこの本を読めば、考古学が身近に感じられることでしょう。

キーワード【火砕流】かさいりゅう

有珠山の地下では粘っこいマグマが一所懸命出口を探して飛び出そうとしていますが、有珠山に押さえつけられてなかなか出られずにいる状態です。しかし、これがいったん破られ、マグマが地表に現れると、よく振ったコーラ飲料の栓を抜いた時のようにマグマからガスが噴出し、爆発的な噴火を引き起こします。この高温の火山灰や軽石が火山ガスなどと混ざり合って火口から斜面を時速百キロにおよぶ猛スピードで流れ下る現象を火砕流といいます。有珠山でも1822(文政5)年に大規模な火砕流が発生し、南西部の集落を襲い59人の死者をだした記録が残されています。

トビツク 小樽にクジラ漂着

4月初旬に相模湾で、マッコウクジラが生きたまま漂着し、テレビ、新聞等で大きく報道されました。

実は同じ時期に、小樽の海岸にもクジラが漂着しました。残念ながらすでに死んでいたので、小樽水族館から標本にしないかとの話がもちかけられました。

クジラはアカボウクジラ科のオオギハクジラで、体長5m31cmのメスで、死後2週間は経過しているものと考えられ、腐乱が進行していました。

オオギハクジラは、太平洋北部からベーリング海、アラスカ周辺に分布し、日本沿海にも時折寄ってきますが、完全な全身骨格は国内でも珍しいため、札幌市で骨格標本作製することになりました。

もし、今回のクジラのように(とは言ってもこんな大きな標本はなかなかないでしょうが...)動物や植物の標本等、本市の博物館基本テーマである「北・その自然と人」に沿った資料がありましたら、ご連絡いただければ幸いです。



オオギハクジラ 出典『鯨類・鯨脚類』西脇昌治(1965) 東京大学出版会

編集後記

昨年お目見えした本紙もしばらくごぶさたしてしまいました(便りのないのは良い知らせとか...)。今年度からは気合をいれて季刊発行をめざします。

さて、今号(春号)では、今年度の主な事業予定をお知らせしました。戸外での活動にも絶好のシーズンを迎えます。真新しいスニーカーに履き替えて、ぜひみなさんも新緑のフィールドへ!

